

令和3年度 こども発達支援センターびーち 放課後等デイサービス 事業所内評価結果

実施期間 令和3年11月～令和3年12月

チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標・工夫している点など
環境 / 体制 整備	① 支援や訓練などに使用するスペースは、利用定員に対して適切であるか	73%	27%	0%	施設基準は十分満たしており、本館・分室と部屋もたくさんあるので、発達課題や人数、メンバーに合わせて、部屋割りを行うことで、有意義にスペースを使うように対応していく。
	② 職員の配置数は適切であるか	91%	9%	0%	配置基準は十分満たしているが、個別支援が必要なお子さんも多いため、入れる時間帯は意識して多職種で支援に入れるようにしていく。また、集団療育と並行して、言語や作業療法の個別支援も行っているため、集団に入る職員と個別療育に入る職員を事前に確認し、その都度職員体制を整えていく。
	③ 施設の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切であるか	91%	9%	0%	本館はバリアフリーで対応している。分室はバリアフリーではないが、将来の生活訓練機能の向上をはかるための療育室としての役割も担っているため、安全面等に留意しながら、生活訓練の一環として意図して分室利用を今後もとり入れていく。また、身体が大ききや体幹の強さに合わせて使用する机や椅子を変えたり、足台を個別に作り座位の安定を図れるようにしたりすることで、その子に合った生活スタイルを促していく。
業務 改善	④ 業務改善を図り、多くの職員がモニタリング・支援検討会議などに参画しているか	82%	18%	0%	できる限り関わった職員全員と情報共有する時間を大切にしている。今後も朝のミーティングや申し送りノートを活用し、なるべく全員が共通理解し支援を行っていきけるようにする。
	⑤ アンケート等を実施し、保護者の意向などを把握したうえで、業務改善につなげているか	100%	0%	0%	送迎時や連絡ノート、ラインなどを活用し、できる限り一人一人の保護者とやりとりできる時間を大切にしている。保護者の希望も確認しながら、個別に時間をつくるなど、今後も意識して丁寧な関わりを心がけていく。
	⑥ この自己評価の結果を、施設の会報やホームページ等で公開していく予定であるか	100%	0%	0%	3月に法人のホームページ上で公開予定。びーちだよりでも、必要な情報は随時報告するよにしておく。
	⑦ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	82%	18%	0%	多方面からの視察や見学、実習生などを常時受け入れているため、風通しの良い開かれた施設にはなっている。今後も地域に開かれた施設として、多くの人の声や意見を取り入れられるようにしていく。
	⑧ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	100%	0%	0%	職員会議の中で、外部の研修に参加した職員が伝達研修を毎月行っている。また、施設内研修でアウトプットの機会を取り入れはじめ、専門的な内容等も他職種の職員と共通理解を図れる機会をつくっている。その他に、支援の仕方・考え方についても、職員会議や朝のミーティングの中で共通理解を図り、意識と質の向上を常に図っている。
適切 な 支 援 の 提 供	⑨ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析したうえで、放課後等デイサービス計画に利用しているか	100%	0%	0%	利用開始の際には、ご家族のニーズをよく確認し、支援計画に取り入れるようにしている。モニタリングの時期以外であっても、お子さんの状況やご家族のニーズの変更を感じた際には、お家の方や関係機関とも確認、連携をとりながら、随時計画の見直しを行っている。
	⑩ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	91%	9%	0%	日々のプログラムや行事など、他職種で案を出し合うことで、多面的視点でプログラムを立案することができている。時々手伝いに入ってもらう職員にもなるべく事前に声をかけ、チームとして動けるように意識していく。
	⑪ 活動プログラムは、楽しめるように工夫されているか	100%	0%	0%	ほぼ毎日利用しているお子さんもいるため、プログラム内容で飽きてしまうことがないようにレクや行事のとり入れ方も含めて工夫している。コロナの感染対策の一つとして、濃厚接触を避けたいためにも、学校ごとにおやつを食べたり、時間帯や部屋を分けたりするなど、プログラムの内容や意味合いなども意識して取り組んでいる。今後も運動、制作等をバランス良く企画し、活動を通して色々な経験ができるように、プログラムを組んでいくことにする。
	⑫ 平日、長期休暇など、利用時間に合わせた支援内容・課題が組み込まれているか	100%	0%	0%	利用時間に加え、その日のメンバーや人数に合った活動内容での課題を提供できるように心がけている。特に長期休暇については、静と動の活動をバランスよく取り入れ、終日のプログラムを充実できるように意識している。
	⑬ 支援開始前には、職員間で打ち合わせをし、その日の内容や役割分担を把握できているか	91%	9%	0%	朝のミーティングで、その日の利用児・対応の仕方・前日の様子・家庭の様子なども含めて、職員全体で把握できるように心がけている。朝のミーティングに参加できない職員もミーティングノートをみれば、分かるようにしている。また、今後の支援体制や施設としての方向性についても、月一回程度で話し合う機会を作っている。
	⑭ 支援終了後は、職員間で打ち合わせをし、その日の振り返りや共通理解をおこなえているか	91%	9%	0%	お子さんの様子や学校での様子、配慮事項等について、その都度声をかけ合いながら確認を取っている。職員の勤務体制もあり、夕方全員でミーティングをするのは難しいため、朝のミーティング時に十分な時間をとって、共通理解を図っている。また、月一回程度放デイ担当職員で話し合う機会を作っており、その中で支援の仕方等の共通理解を図り、模索してより良い支援提供が出来るよう心がけている。
	⑮ 日々の支援に関して、適切な記録を心がけ、今後の支援内容・改善につなげているか	100%	0%	0%	毎日記録を残すことができている。子どもへの対応だけでなく、保護者への対応でも必要なことは、対応した職員が書くように、また随時関係機関との連携も記している。
	⑯ 地域の方や施設外の子供たちとも交流する機会が用意されているか	55%	36%	9%	今年度も、新型コロナウイルス感染症の影響など社会情勢もあって、施設外に行く機会を意図的に減らす形をとった。地域行事等に子どもたちが参加することは難しかったが、地域の人と挨拶をしたり、手を振ったりする際には、対面での距離感なども含め、学ぶ機会となっている。
	⑰ 定期的なモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しに役立っているか	100%	0%	0%	定期的にモニタリングを行うことができている。今後も6か月の期間に限らず、必要に応じて個別に対応できるようにしていく。
	⑱ ガイドラインの総則を理解し、活動にいかせているか	91%	9%	0%	ガイドラインを全職員が把握できるように促しているが、日を経つと忘れてしまうことも多いので、職員会議の中でも振り返る機会を作りながら、意識づけを図っていく。
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	⑲ サービス担当者会議に参画し、相談支援員とともに現状の把握と理解に努めているか	91%	9%	0%	今年度はコロナ感染対策の影響もあり、大人数での会議が難しかった。今後は社会情勢にあわせ、リモートや電話連絡なども含めた各機関との連携を意識していく。
	⑳ 学校との情報共有や連絡調整などは、随時行っているか	100%	0%	0%	教育委員会の就学支援会議にも参加しており、学校との情報共有は比較的図れている。日々の送迎時を中心に、電話連絡なども行うことで、今後も意識して連携を図っていく。コロナの感染状況や学級閉鎖の対応なども、各学校と連携を図り、同様の対応をすることが出来た。
	㉑ 就学前に利用していた施設と情報を共有し、相互理解を深められているか	91%	9%	0%	保育所等訪問支援事業や教育委員会の就学支援会議なども施設として行っているため、関係機関とは比較的情報共有がはかっている。今後も発達課題や家庭状況等ご家庭の方に確認を取りながら、意識して外部との連携を図っていく。
	㉒ 障害福祉サービス事業所などへ移行していくときは、支援内容や情報共有を心掛けているか	100%	0%	0%	現状や今後の発達課題、支援方法などに合わせ、情報共有を行っている。今後もライフヒストリーを見据えた支援ができるように心がけていく。
	㉓ 専門機関と連携をし、助言や研修を受けているか	82%	18%	0%	大学、他機関などもふくめ、研修を受ける機会を設けている。今年度はオンライン研修もあり、違った形での取り組みとなった。医療との連携はまだ不十分なので、分野を超えての連携も今後意識して取り入れていく。
	㉔ 地域の自立支援協議会等へ積極的に参加できているか	100%	0%	0%	毎回協議会に参加している。今後も継続して参加し、地域の中での発信やアウトリーチが行えるように意識していく。
	㉕ 日頃から、保護者と子供の発達や課題について、話しあっているか	100%	0%	0%	送迎時や日々の連絡ノートなどを利用し、ご家族の方と話す時間を大切にしている。祖父母の送迎なので、十分に日々の振り返りが伝えられない時には、お家の方の意向も確認し、電話やラインなどで並行して両親にも日々の振り返りの時間を設けている。
㉖ 保護者に対して、ペアレントトレーニングができているか	100%	0%	0%	今年度はペアプロとベアトレを開催した。来年度も継続して勉強会を開催し、お家の方も安心して子育てにあたるように環境を整えていく。	
保 護 者 へ の 説 明 責 任 等	㉗ 運営規定や支援の内容、利用者負担などについて丁寧な説明を行っているか	100%	0%	0%	基本的には、契約時及び更新時にその都度説明している。契約者には伝わっていると思うが、家族間での共有は十分ではないかもしれないので、契約者以外の家族にも折に触れて周知できるようにしていく。また、外部の人と関わる仕事も増えてきたので、全員が内容を理解し、自分の口で説明できるように体制を整えていく。
	㉘ 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	100%	0%	0%	ミーティング等でその都度話し合い、適切かつ丁寧な返答ができるように心がけている。また、必要な方に対しては、お子さんの利用状況に限らず、適宜個別相談の時間を設けている。また、電話やラインなども活用し、継続的な相談の場を設けられるようにしている。
	㉙ 保護者同士の連携を意図的に用意できているか	45%	55%	0%	今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響から、交流の機会や密になる機会をなるべく減らすような対応をとった。今後は、お仕事をしている方も多いため、時間帯や曜日、オンラインなども工夫し、座談会や勉強会など取り入れていけると良いと思う。
	㉚ 子どもや保護者からの苦情に迅速かつ適切に対応できているか	100%	0%	0%	日頃からお家の方の声を傾け、苦情に繋がらないように意識して丁寧に対応している。また、要望などを聞いた際には、対応出来ることなのかをその場で確認したり、必要であれば他機関に上げたりするなど、臨機応変な対応を心掛けている。
	㉛ 施設での行事予定・連絡や確認など、必要に応じて発信できているか	100%	0%	0%	びーちだよりやお便り、連絡帳を利用して、できるだけ早めに伝えられるように心がけている。また、日々の様子を時々ラインで写真なども交えてお伝えできるようにした。今後も保護者と楽しさや安心を共有できるようにしていく。
	㉜ 個人情報に十分配慮できているか	100%	0%	0%	基本的には契約時や年度切り替え時にプライバシー承諾書にて保護者に確認を取っている。職員に対しては、個人情報保護法と併せて周知を図っている。第三者が施設内に入る事も多いので、今後も丁寧に取扱いしていく。
	㉝ 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	100%	0%	0%	基本的には契約時に全員に周知している。家族間での周知に差があったり、数年利用して下さっている方もいて、記憶が薄れてきている方も居るので、びーちだより等を活用し適宜周知を図っていく。
非 常 時 等 の 対 応	㉞ 非常災害の発生に備え、定期的に避難訓練を行っているか	100%	0%	0%	定期的に避難訓練を行っているが、保護者の方への周知は不十分であったため、今後びーちだよりや帰りの送迎時等で周知できるようにしていく。福祉避難場所にもなっており、分室に備蓄などもあるので、賞味期限を確認し、いざという時に適切な対応ができるようにしていく。
	㉟ 虐待を防止するため、職員に研修の機会を取り入れるなど、適切な対応ができているか	100%	0%	0%	毎年施設内でパート職員も含めた全職員への周知・研修を行なっている。また、職員のメンタルヘルスや気持ちの整え方に対する研修もっており、虐待につながりにくい事前対応を心掛けている。
	㊱ 食物アレルギーのある子どもについて、保護者に確認して適切な対応をしているか	100%	0%	0%	基本的には契約時に必ず確認をしている。びーちにて、アレルギー個別対応が必要なお子さんについては、医師からのアレルギー対応指示書を年度ごとに提出してもらっている。今後も、適切な対応を職員間で確認し、徹底した管理を行なっていく。
	㊲ ヒヤリハット事例集を作成して、施設内で共有しているか	100%	0%	0%	ヒヤリハットとなった事象については、報告書でまとめ、ミーティングでのその都度報告し、全職員が把握できるようにしている。今後も、ヒヤリハットに繋がらないように、日頃から意識を高めた関わりを心掛けていく。

上記のように、施設内でも事業所評価を行いました。今後に活かしていきたいと思っておりますので、どうぞ宜しくお願いします。